



Company Introduction

株式会社ユビキタスAI

2026年2月

Index

ユビキタスAIグループ概要

会社概要

事業概要

IR情報



ユビキタスAIグループ 概要

ユビキタスAIグループ



Purpose
わたしたちの存在意義

先進かつ
優れたテクノロジーで、社会を進化させる。
Invisible Tech, Visible Change

顧客が先進的で優れた製品・サービス・ビジネスを
実現するために必要なテクノロジーを提供する



組込みソフトウェア製品開発・輸入販売
コンテンツライセンス
ソフトウェア受託開発
製造業顧客基盤

データアナリティクス製品輸入・販売
学術・政府機関顧客基盤

ユビキタスAIグループの強み



メーカー・商社・受託開発とバランスの取れた事業ポートフォリオと
長年の業歴に基づく強固な顧客基盤を持つ事業体



メーカー事業の高収益モデル

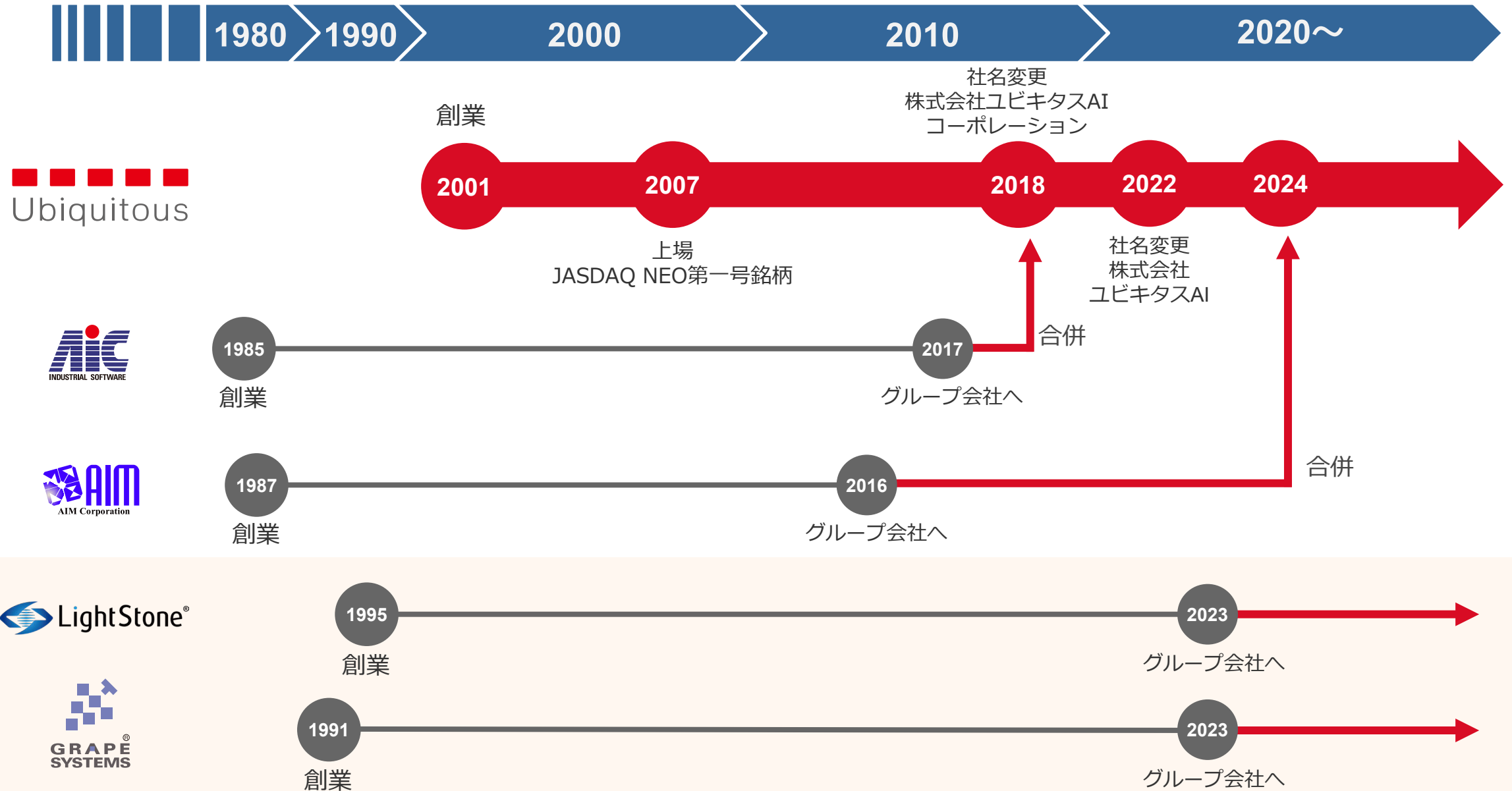
組込みソフトウェア開発の強みと
IT開発も含めたトータル提案力

商社事業の安定収益

高い要素技術知見と開発力

受託開発による安定したキャッシュ
フロー確保と製品販売へのシナジー

グループ沿革



Ubiquitous AI Group

Our Vision

わたしたちのありたい姿

Philosophy

わたしたちの基本理念

この場、この時が、素晴らしい人生へとつながるように。

All for wonderful life

ユビキタスAIグループは、社員一人ひとりが挑戦し成長する「場」でありたい
ここでの出会いや、仲間と仕事をする「時」を、充実した人生につながる意義あるものにしたい
わたしたちは、この想いを大切にしています

Principles

大切にする価値観

自社だけでなく、かかわるすべての人たちの利益を考えて行動する。

Grow Together

広い視野で世界を見つめ、テクノロジーへの好奇心をもちつづける。

Curious about Technology

自分なりでいい。挑戦を楽しみ、挑戦に拍手をおくる。

Embrace challenge

専門性をもった者同士が互いを尊重し、助けあい、高めあう。

Be professional

人にはもちろん、仕事や技術に対しても誠実に向きあう。

With integrity

Purpose

わたしたちの存在意義

先進かつ

優れたテクノロジーで、社会を進化させる。

Invisible Tech, Visible Change

Mission

成し遂げたいこと

最適なソフトウェアテクノロジーを、
あらゆるところに。

Software, Everywhere

Exploring Everything

革新的なアイデア、未来を照らす技術シーズ、
自社および他社による有形無形の製品、そして、
これらを見つけ、生み出すタレント。

私たちにとって、こうしたテクノロジーにかかわる
すべてが宝物であり、収益の源泉となる。

私たちはまだ見ぬ宝物を探し続けることで、
社会の進歩に貢献します。



会社概要

先進かつ優れたテクノロジーと
強固で幅広い顧客基盤を活かし、
製造業のお客様が必要とする
テクノロジーとサービスを提供します。



Ubiquitous AI
Exploring Everything

当社について

製造業のお客様が必要とするテクノロジーとサービスの提供、半導体を活用した機器開発に必要な組み込みソフトウェア技術に強み

電子・電気機器を製造・開発する大手企業の企画・開発・設計部門を主要顧客とし、1,000社以上の顧客口座を持つ

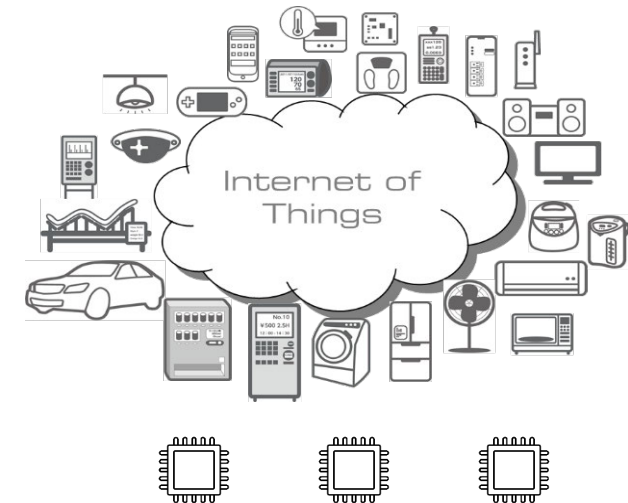
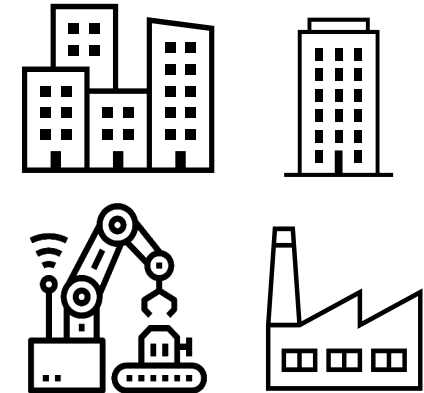
ソフトウェア製品開発と商社機能、製品・サービス販売が中心、販売に必要な受託開発・サポートを行う

電子・電気機器開発に必要なソフトウェア部品と開発支援ツール

C言語を中心に、高いスキルを持つエンジニアチーム

マルチメディア・メタデータ関連製品及び関連IT系開発経験が豊富

海外スタートアップ・ベンチャーの最新技術を取扱い（約40年）



創業エピソード

■ 「伝説の天才プログラマー」が設立メンバー

- 元マイクロソフトの数名が立ち上げた会社
- 創業者の一人、鈴木仁志（元CTO：最高技術責任者）は、“日本のパソコン黎明期にマイクロソフトと提携”“後のマイクロソフト日本法人設立”と、多くの人材を輩出したアスキーという会社に在籍
- 世界初のラップトップコンピューター向けOSの開発時、マイクロソフト創業者ビル・ゲイツとのプログラミング勝負に鈴木が勝利し、ビル・ゲイツがプログラミングを辞めたという逸話を持つ「天才プログラマー」



鈴木仁志 フェロー
(創業者 元CTO)

詳しくはこちら⇒



創業エピソード ～設立時の思い～

- 設立時の社名は「ユビキタス」
- 「ユビキタス」とは、あらゆるところに遍在する、というラテン語
- 「ユビキタスネットワーク」, 「ユビキタスコンピューティング」など、あらゆる電子／電機機器がネットワークに繋がる社会を実現するための技術を提供することを目的として設立
- 「技術者がやりたいことができる」「能力を最大限に生かせる」ことを、会社の存在意義の一つとして掲げている

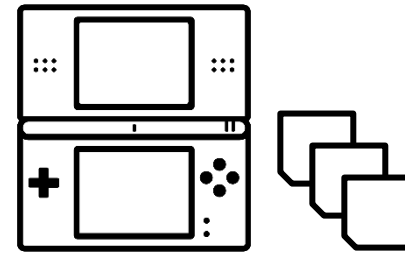


創業エピソード ～ 卓越したエンジニアスキル



Our Origin of Technology

Web Server Working on
8bit MCU
Origin of Ubiquitous
Network
25 years ago



Internet of Things in 2005

Porting TCP/IP and SSL on
Game Cartridge and
Working with ARM9 Game
Device
Just 50KB Code Size of
TCP/IP and SSL

Ubiquitous TCP/IP Network OS

Our TCP/IP Protocol
Stack and SSL are
Shipped Over 250
Million Unit in World
Wide



Ubiquitous
Network Framework

What is IoT Devices

Reference IoT Development
Board is Monster Machine for
our Network Platform

Raspberry Pi
Model A
ARM11 700MHz
256MB ROM



Wi-Fi Network
Module
ARM7 50MHz
256KB ROM

会社概要



株式会社ユビキタスAI

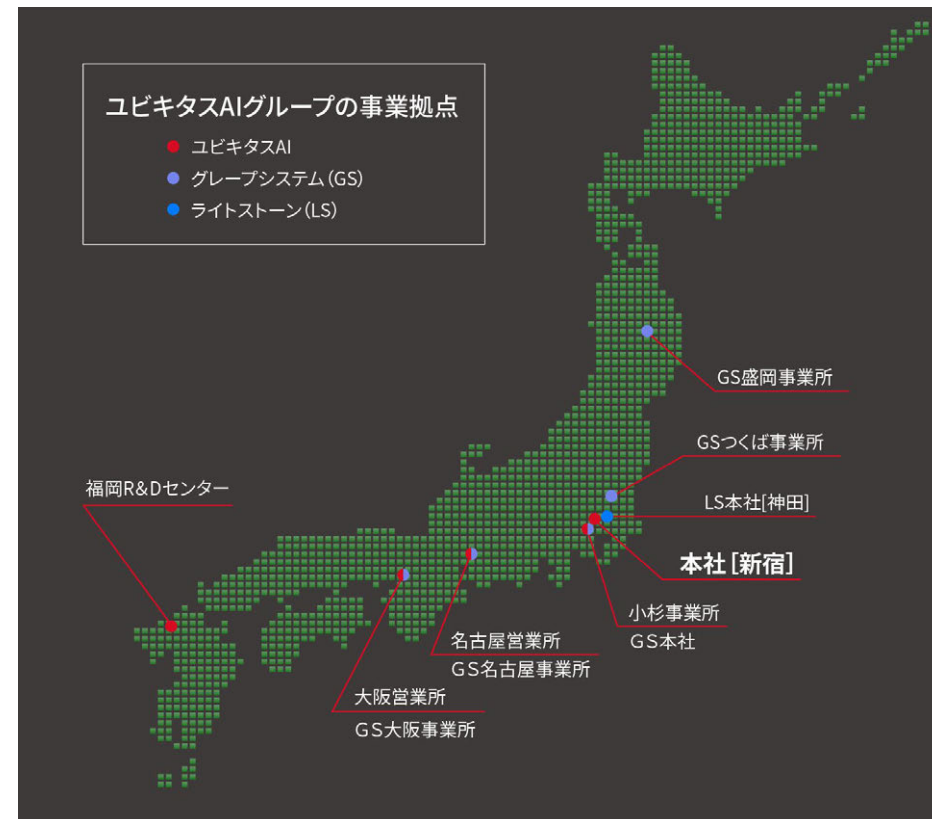
東証スタンダード上場 銘柄コード【3858】

代表取締役社長 CEO 大吉 裕太

資本金 14億8,348万円（2025年3月31日現在）

事業内容 製造業顧客が必要とするテクノロジー・サービスの提供

グループ会社 株式会社ライトストーン
株式会社グレープシステム



沿革

2001年	5月	元マイクロソフトのエンジニアを中心に株式会社ユビキタスを創業、組込みソフトウェア事業開始
2005年		大手ゲームメーカーに組込みネットワーク製品が採用
2007年	11月	JASDAQ NEO市場に上場（現在は東証スタンダード上場）
2010年	3月	高速起動ソリューション「Ubiquitous QuickBoot」を発売
2011年	10月	デロイト 2011年 日本テクノロジー Fast50に入賞
2012年	12月	株式会社村田製作所と資本・業務提携締結
2016年	4月	株式会社エイムを子会社化
2017年	4月	株式会社エーアイコーポレーションを子会社化
2018年	7月	株式会社エーアイコーポレーションを吸収合併、社名を株式会社ユビキタスAIコーポレーションに変更
2019年	10月	デロイト 2019年 日本テクノロジー Fast 50に入賞
2019年	12月	デロイト 2019年 アジア太平洋地域テクノロジー Fast 500に入賞
2022年	7月	社名を株式会社ユビキタスAIに変更
2023年	4月	株式会社ライトストーンを子会社化
2023年	10月	株式会社グレープシステムを子会社化
2023年	11月	北九州ビジネスイノベーションセンター開設
2024年	7月	小杉事業所開設
2024年	8月	株式会社エイムを吸収合併
2025年	4月	福岡R&Dセンター開設

経営スタッフ



代表取締役社長 CEO
大吉 裕太

2013年にJPモルガン証券入社。主にクロスボーダーの資金調達業務に従事。2020年よりベンチャーキャピタリストとしてAI・IoT・ロボティクスなどの先端技術開発を行う企業への投資、社外取締役として2社の経営関与。2022年にテックスタートアップ企業の取締役CFOに就任。富士通グループへの企業売却を遂行し、その後富士通子会社取締役CFO。2024年より当社執行役員、当社子会社の監査役および取締役も兼務。2025年より当社取締役CSO兼CFOを経て代表取締役社長CEO。



取締役副社長 COO
古江 勝利

1992年に米国モトローラの日本法人に入社し、後に分社化されたフリースケール・セミコンダクタ・ジャパンを含めて20年以上に渡り半導体製品の営業、ビジネス開拓、プロダクトマーケティングに従事。2016年にソフトウェア業界に転身し、組込みソフトウェア開発ツールメーカーのIARシステムズでマーケティングマネージャーとして日本市場ビジネスの成長に貢献。2021年より当社事業部長、その後執行役員、取締役を経て、取締役副社長 COO。



社外取締役
為廣 暁雄

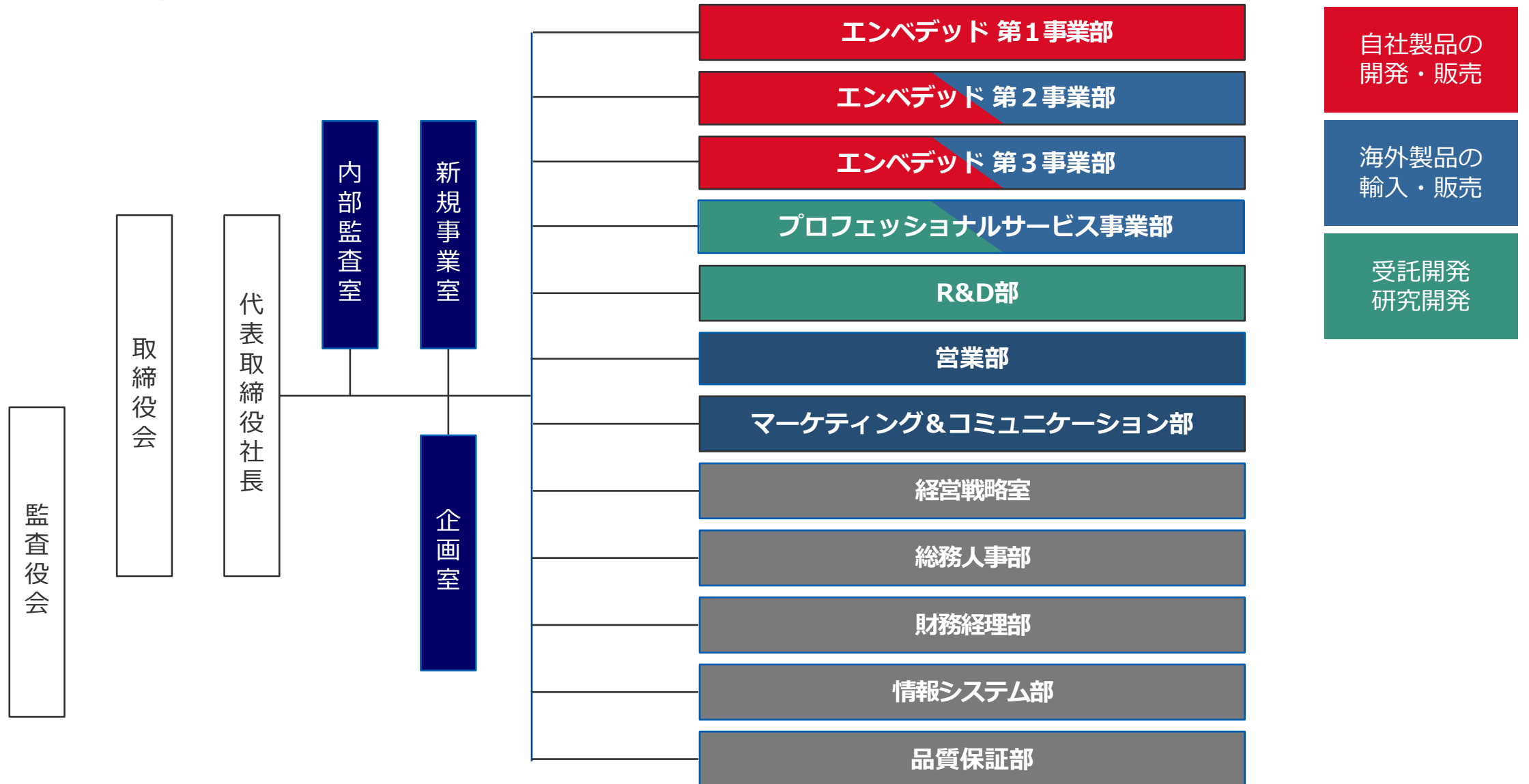
Noah International Taiwan Corp. 董事長
大塚資訊科技股份有限公司 取締役



社外取締役
阿部 海輔

公認会計士・税理士

経営組織図



グループ会社：株式会社ライトストーン



- 社名 株式会社ライトストーン
- 所在地 <本社> 〒101-0031 東京都千代田区東神田2-5-12 龍角散ビル7F
- 資本金 2,450万円（2025年3月31日現在）
- 代表取締役 会長兼社長 大吉 裕太
- 事業内容 科学技術系ソフトウェアの輸入販売および日本語化、ソフトウェアの開発・カスタマイズ、ソフトウェアの解説書出版、ソフトウェアの操作講習・トレーニング
- 販売先 教育機関（大学・高専）、政府系研究機関、一般企業
- 沿革
 - 1995年 3月 有限会社ライトストーン・インターナショナルとして創業
 - 1996年 1月 本社を東京都葛飾区に移転
 - 2001年 3月 商号を株式会社ライトストーンに変更
 - 2002年 4月 研究用ソフトウェア受託開発サービス開始
 - 2004年 10月 セミナーサービスを開始
 - 2006年 6月 本社を東京都墨田区に移転
セミナールームにてセミナーの提供開始
 - 2016年10月 本社を東京都千代田区に移転
 - 2023年 4月 ユビキタスAIの100%子会社化

■ 取り扱い製品一覧

 The Ultimate Software for Graphing & Analysis グラフ作成 データ分析 Origin	 統計統計ソフトウェア Stata	 質的データ分析 MAXQDA
 計量経済データ分析 EViews	 画像解析ソフトウェア MIPAR	 AIによる予測・要因分析・多目的最適化webサービス Multi-Sigma
 データモデル・マップ・グラフ作成 Golden Software	 地下水流/地表流/水理水文解析 GMS/SMS/WMS	 XRD解析ソフトウェア Jade
 粉末X線回折のためのDB ICDD PDF-4 / PDF-2	 Phase Identification from Powder Diffraction 粉末回折データ相同定 Match	 Crystal Structure Database for Inorganic Compounds 無機化合物の結晶構造DB Pearson's Crystal Data
 Crystal and Molecular Structure Visualization 結晶構造視覚化 Diamond	 Structure Solution from Powder Diffraction 粉末回折から構造決定 Endeavour	 量子シミュレーション・モデリングソフトウェア RESCU+ / NanoDCAL+
 計量モデルの作成ツール Limdep / Nlogit	 計量経済データ時系列分析 Estima RATS / CATS	 ファイル形式変換ソフト Stat/Transfer
 有限要素法モデル開発 FlexPDE	 生物学シミュレーション・モデリング CLIMEX / DYMEX	 Expanding Probabilities. 行列演算プログラム言語 GAUSS
 Complexity made simple™ 数学・統計のコレクション Extreme Optimization		

グループ会社：株式会社グレープシステム



- 社名 株式会社グレープシステム
- 所在地 <本社> 〒211-0063川崎市中原区小杉町1-403 武蔵小杉タワープレイス14F
- 資本金 9,850万円（2025年3月31日現在）
- 代表取締役社長 古江 勝利
- 事業内容 組込み機器関連のソフトウェア製品の開発、販売、サポート
組込み機器向け輸入ソフトウェアの販売・技術サポート
印刷関連ソフトウェアおよびバーコードソフトウェア製品の開発、販売、サポート
上記に関連した受託開発およびコンサルティング業務全般

- 販売先 国内の家電メーカー、産業機器メーカー、医療機器メーカーなど

■ 沿革

- 1991年 7月 横浜市にて会社設立
- 1991年 8月 盛岡市、大阪市に事業所開設
- 1995年 5月 リアルタイムOS販売開始
- 1998年 5月 組み込みミドルウェア「GRAPEWARE」発売
- 1999年 4月 プリントシステム開発キット「GR-PDK」他発売
- 2000年 5月 本社を横浜みなとみらい地区に移転
- 2011年 4月 音声コード関連製品およびソリューションの提供開始
- 2017年 3月 岐阜市に事業所開設
- 2017年10月 つくばみらい市に事業所開設
- 2022年 3月 ユビキタスAIと資本・業務提携
- 2023年10月 ユビキタスAIの100%子会社化

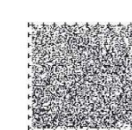
自社開発ソフトウェア

GRAPEWARE



音声コード「Uni-Voice」

JAVIS（日本視覚障がい情報普及支援協会）が開発した漢字を含む文字データを約800文字記録できる、携帯電話対応2次元バーコード



マイナンバー通知文書
年金定期便
押しボタン式信号機

海外製ソフトウェアの販売とサポート





事業概要

テクノロジーラインアップ

電子・電気機器開発に必要なソフトウェア、ツール、サービスを包括的に提供

仕様策定
機能検討
システム設計

コーディング
機能実装

システム検証
書き込み

< システムレイヤー >

- Linux/Android高速起動
- リアルタイムOS
- BIOS

< 開発支援・品質向上ツール >

- ファジング、ペネトレーション試験
- 静的コード解析
- バイナリSCA（SBOM作成）
- 車載ECUソフトウェア開発
- ECUリアルタイムシミュレーション
- マルチECUタイミング検証

< デバッグ・書き込みツール >

- フラッシュプログラマ
- ROMライター

< ミドルウェアレイヤー >

- デジタルインターフェース
USB, SD, Wi-Fi, Bluetooth etc.
- ネットワークプロトコルスタック
- セキュリティライブラリ
TPM, 暗号ライブラリ, TLS/DTLS, DRM
- ファイルシステム
- アプリケーションプロトコルスタック

< サービス・トレーニング >

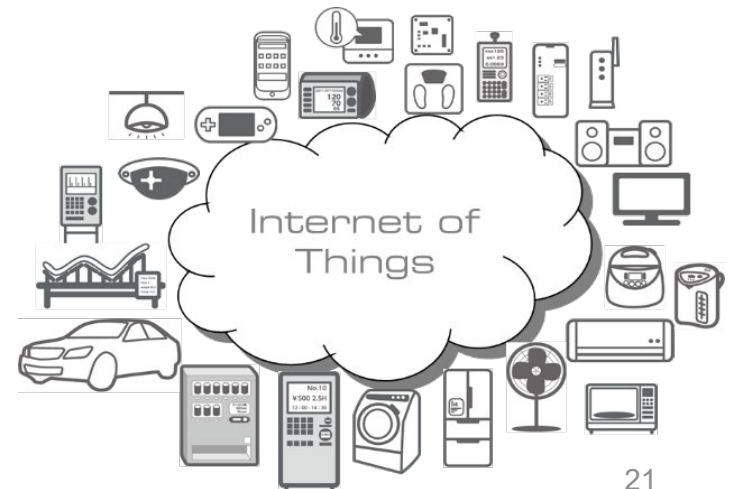
- IoT機器セキュリティ検証
- 開発・実装支援
- 技術コンサルティング
- 受託開発
- ECU制御ソフトウェア開発者育成
- AI / DX人材育成

< アプリケーションレイヤー >

- HMI
- マルチメディア
- 組込みデータベース
- ネットワークマネジメント
- デバイスライフサイクルマネジメント

< AI >

- エッジAIライブラリ
- ディープラーニング
- AIモデル最適化



モビリティへの取り組み

CASEへの進化と変化を幅広いソフトウェアソリューションでサポート

コード品質向上支援／開発支援

- ・静的コード解析ツール「CodeSonar」
- ・SBOM作成サービス

ストレージ

- ・電源断対応ファイルシステム「Reliance Nitro/FlashFX」
- ・SD/SDIOドライバー

車載ネットワーク / セキュリティ

- ・秘匿データ保護・耐タンパ「Ubiquitous Securus」
- ・TPM「Ubiquitous TPM Security」
- ・MISRA-C, FIPS140-3準拠暗号ライブラリ「HE-CRYPTO」
- ・OTAアップデート「OMA-DM、LWM2M クライアント」
- ・TLS「Ubiquitous TLS」「HE-TLS」
- ・IPSec「Ubiquitous Network Framework」「HE-IPSec」

インフォテインメント

- ・Linux/Android高速起動「Ubiquitous QuickBoot」
- ・コンテンツ保護「Ubiquitous DTCP/HDCP」「Ubiquitous Securus」
- ・スマートフォンミラーリング「Ubiquitous Miracast / Mirroring SDK」
- ・楽曲認識 / データ「Gracenote CDDDBポーティング」「YOMI / 別名」
- ・高速データベース「Ubiquitous DeviceSQL」
- ・Wi-Fi「Ubiquitous Wi-Fi SDK」
- ・Bluetooth「BlueSDK」
- ・USB「HE-USB」

ECU開発

- ・ECU開発シミュレーションツール「GSIL」「GTrainer」
- ・ECUタイミング検証ツール「chronSUITE」
- ・カバレッジ測定ツール「Testwell CTC++」
- ・ECU変数管理システム / ミドルウェア「Visu-IT!」
- ・脆弱性・セキュリティ検証ツール&サービス「beSTORM」
- ・ハイパーバイザー「SafeG」

産業分野への取り組み

FA機器、ロボティックス、IoT機器から製造業DXまで広範にサポート

ネットワーク / ミドルウェア

- 機能安全/MICRA C準拠TCP/IPプロトコルスタック「HE-NET」
- 高速データベース「Ubiquitous DeviceSQL」
- ビルオートメーション用プロトコル「BACstac および BACnet 関連製品」
- 組み込み向けMODBUSプロトコル「μMODBUS Toolkit」※
- Bluetoothプロトコルスタック「BlueSDK」
- 組み込み向けSSL/TLS 通信ライブラリ「μSSL TLS SDK」※
- 組み込み向け高品位GUI開発環境「PEG+」

AI

- 外観検査「Anomaly Generator」「ImagePro」
- AI学習データ・サイズ圧縮「AIC Compact」
- 低コスト無人キャッシュレス店舗「BAITEN STAND」
- 非接触UI操作「KAIBER Touchless」※

スマートエナジー / スマートホーム

- ECHONET Lite対応ミドルウェア「Ubiquitous ECHONET Lite」「Matter - ECHONET Liteブリッジ」
- DLMS/COSEMプロトコルスタック「SYNC500」

データ解析

- データ統計・解析ソフトウェア「Stata」※
- グラフ作成・データ解析ソフトウェア「Origin」「MAXQDA」※

OS関連

- Linux/Android高速起動「Ubiquitous QuickBoot」
- EFI/UEFI準拠BIOS「InsydeH2O」
- IoT向けオールインワンパッケージ「Ubiquitous RTOS IoT Enabler」
- マルチコア・64ビット対応高性能RTOS「TOPPERS-Pro」
- 機能安全対応リアルタイムOS「PX5」※

セキュリティ / 信頼性向上

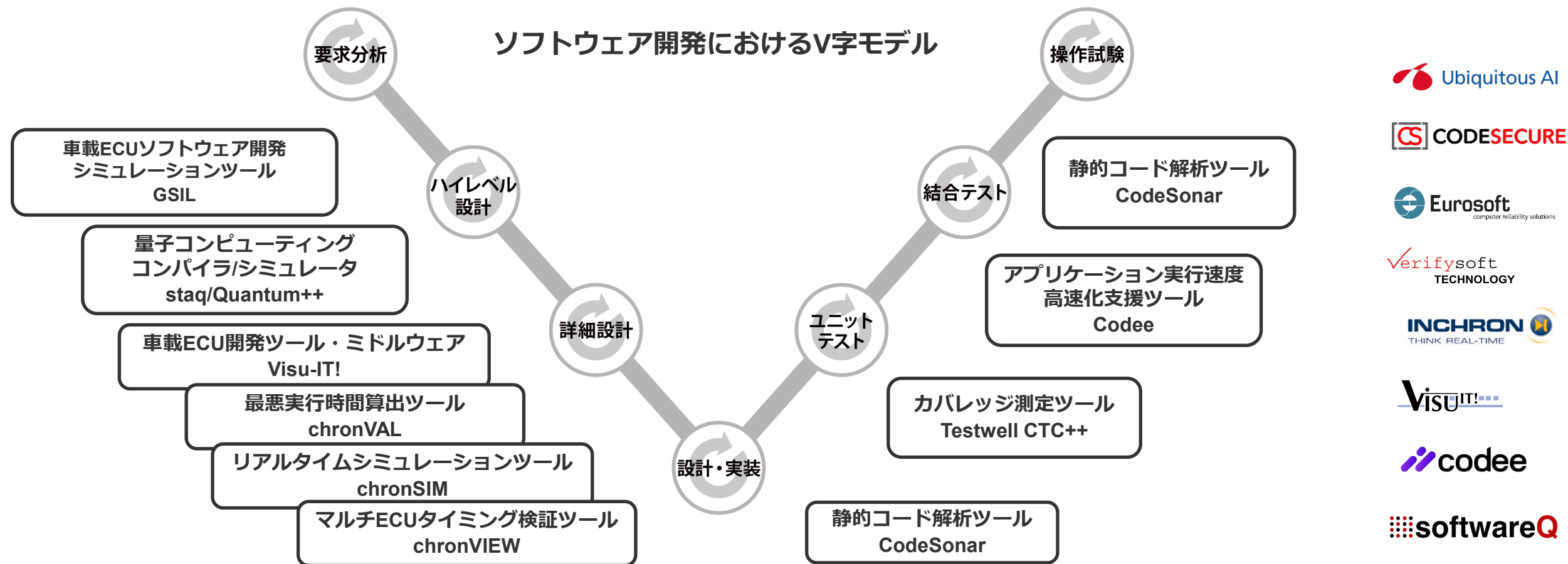
- IoT機器セキュリティ検証ツール・サービス
- ランタイムエラー静的検出ツール「CodeSonar」
- ソースコードSBOM解析ツール「FOSSID」※
- TPMソリューション「Ubiquitous TPM Security」
- 秘匿データ保護・耐タンパ「Ubiquitous Securus」
- MISRA C準拠暗号ライブラリ「HE-CRYPTO」

製造業DX

- 産業用スマートグラス「InfoLinker遠隔支援ソリューション」
- ワークアシスタントビジョンAI「Right4T/ Right4W」
- 熱中対策ウェアラブルデバイス「カナリア」
- リアルタイム実在庫データ管理「スマートマットクラウド」
- 製造業向け3次元データ活用「Scene Workspace」

開発支援・品質向上ツール

ソフトウェア規模の増大や複雑化、セキュリティ要求の課題を解決



「セキュア」で「高品質」なソフトウェア開発のための当社製および海外製ツール・サポートを包括的に提供

サイバーセキュリティに対応した開発プロセスの実現

ライフサイクル全般にわたるセキュリティ確保

デバイスライフサイクルマネジメント

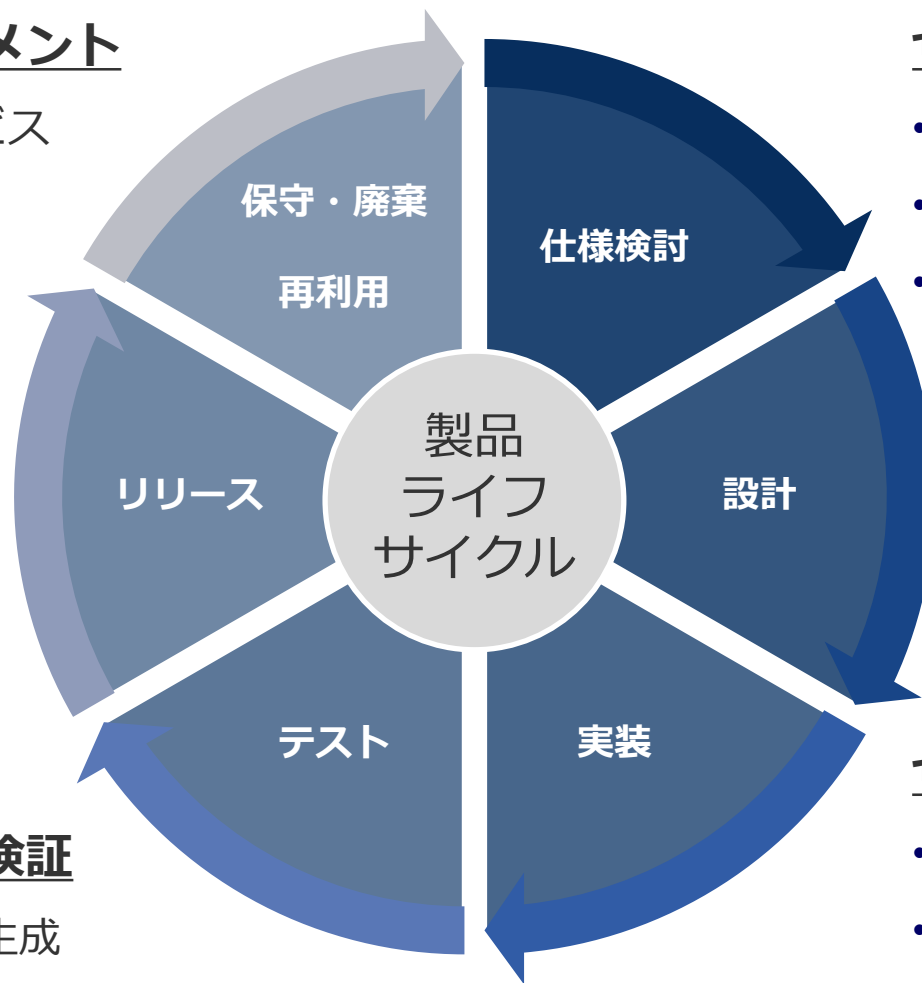
- セキュアなIoTデバイス管理サービス

IoT機器の脆弱性検証

- DAST
 - ファジング試験
 - ペネトレーション試験
- ガイドライン適合
- 検証サービス（第三者検証）

ソフトウェア品質向上・脆弱性検証

- SCA : バイナリ解析によるSBOM生成
- SAST : 静的コード解析、コーディングルール準拠



セキュリティコンサルティング ※

- 脅威分析
- ガイドライン適合
- サイバーレジリエンス対応

※コンサルティングパートナーと連携

機密情報保護

- 重要ファイル転送プラットフォーム (脱PPAP)

セキュリティ対応ミドルウェア

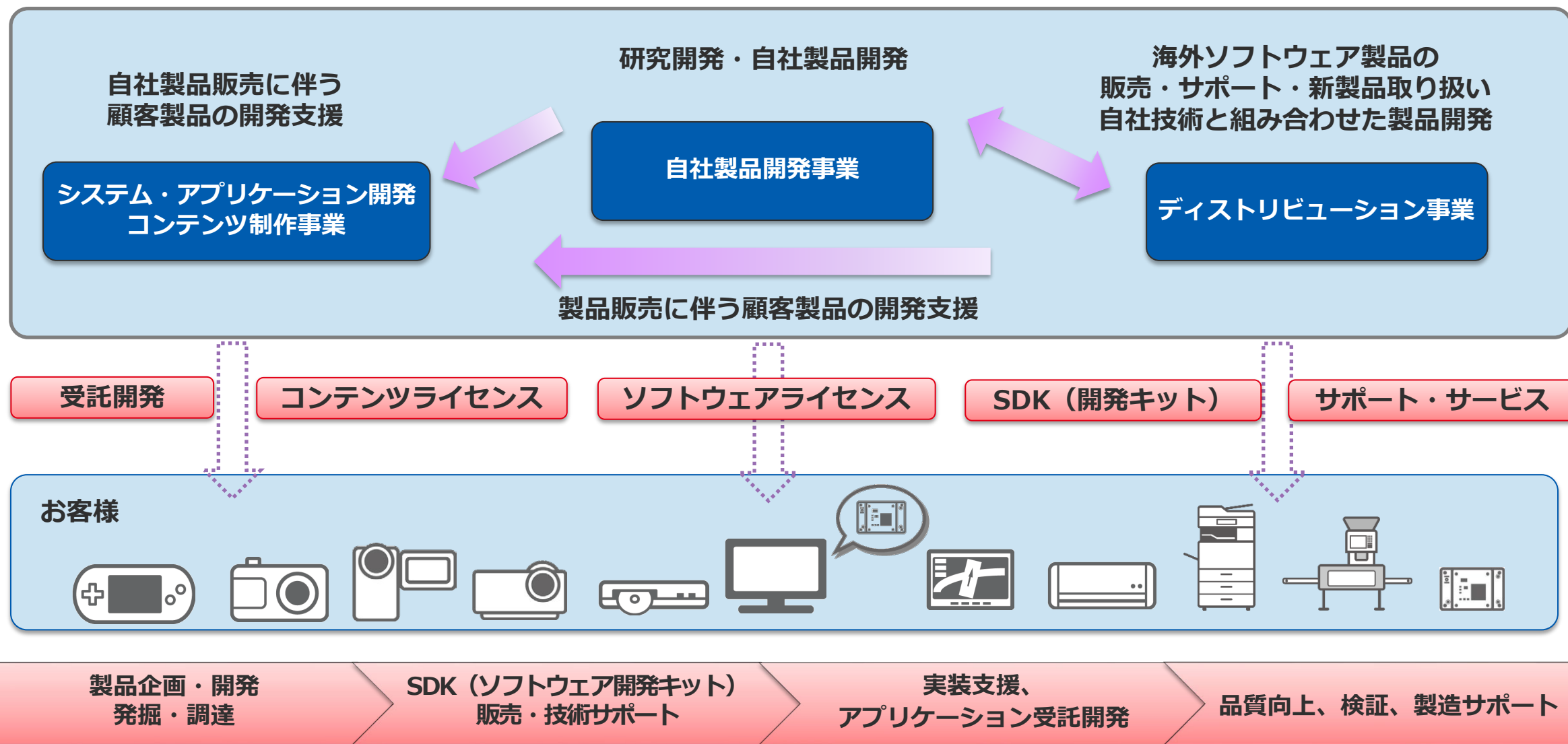
- MISRA-C準拠組込み暗号ライブラリ
- TPMチップ向けソフトウェアスタック
- 耐タンパ鍵管理と秘匿データ・コンテンツ保護ソリューション

世界中の最新かつすぐれたソフトウェアを日本の製造業企業に 長年の技術商社としての知見と技術サポートを付加価値として提供



ビジネスモデル

グループ会社全体で製品開発から量産までに必要な要素をカバー





IR情報

| 2025年3月期 業績 概要

2023年10月に子会社化したグレースシステム社（GS社）の売上が寄与し、連結売上高は前期比+19.0%の大幅増。粗利率の高い製品の構成比が増加し、M&Aに伴う人件費や会社規模拡大に伴う内部統制の整備・運用などによる販管費の増加を吸収。連結営業利益は前期比+46.9%の大幅増

連結売上高：4,138百万円
(前年同期比：+19.0%)

連結営業利益：105百万円
(前年同期比：+46.9%)

※GS社の業績値はデータアナリティクス事業以外に按分

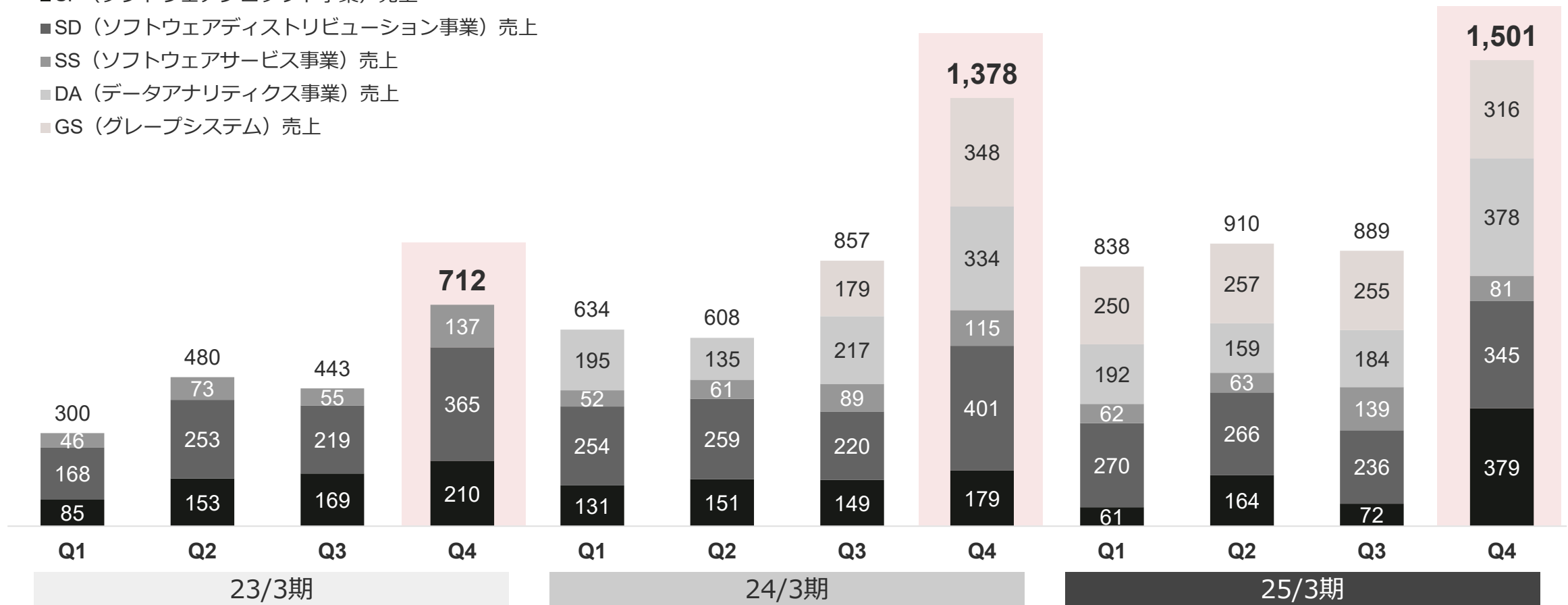
事業セグメント		25/3期	24/3期	概況（対前年同期比）
(単位：百万円)				
ソフトウェアプロダクト事業	売上高	899	689	GS社の売上追加分などにより売上高は増加したが、セグメント共通コスト増加の影響により営業損失
	営業損益	△28	17	
ソフトウェアディストリビューション事業	売上高	1,318	1,242	既存顧客からのロイヤルティおよび受託開発、既存顧客向けライセンス売上の前倒しに加えて、GS社取扱い海外製品の売上分の追加により、売上高が前期比で増加したが、セグメント共通コスト増加の影響により営業損失
	営業損益	△37	△14	
ソフトウェアサービス事業	売上高	1,005	663	既存事業の受託開発売上が好調、GS社売上の通期計上により、前期比で売上高・営業利益ともに大幅増
	営業損益	118	41	
データアナリティクス事業	売上高	914	883	統計ソフトの売上が減少したが、画像処理、AIソフト等他のソフトウェアの売上が増加し、売上高・営業利益ともに増加
	営業損益	51	27	

四半期別 売上高の推移

SPの大幅増が寄与し、QoQでは+8.9%

(単位：百万円)

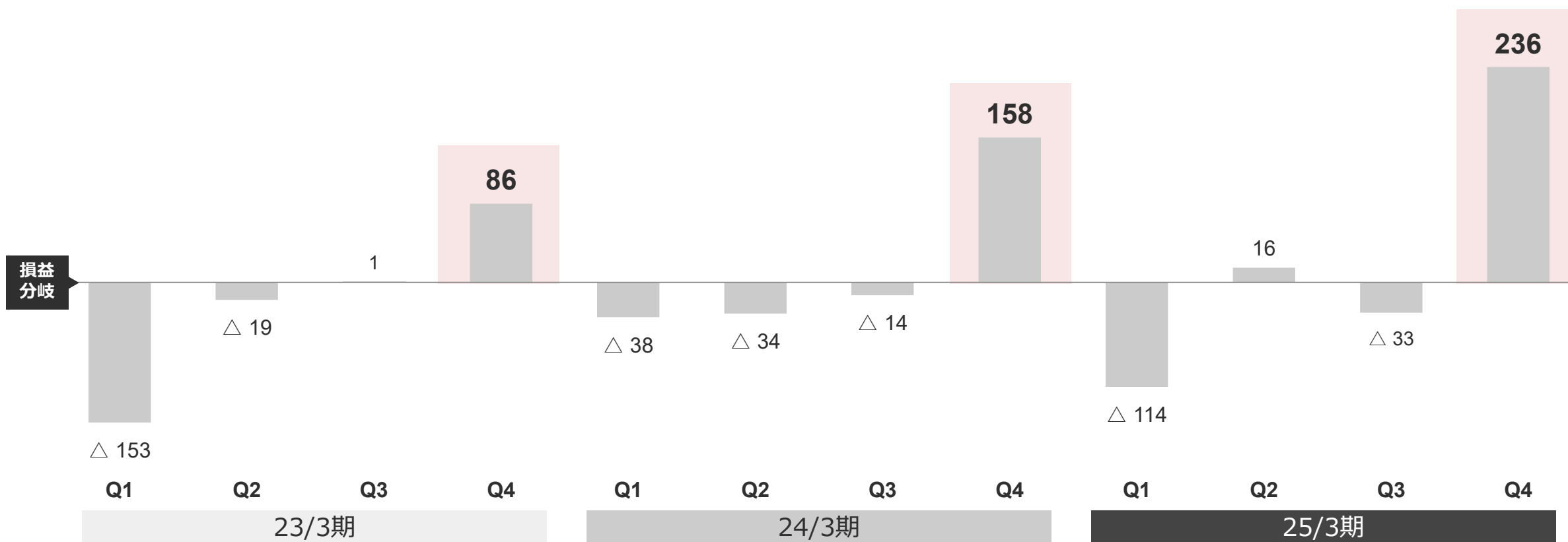
- SP (ソフトウェアプロダクト事業) 売上
- SD (ソフトウェアディストリビューション事業) 売上
- SS (ソフトウェアサービス事業) 売上
- DA (データアナリティクス事業) 売上
- GS (グレースシステム) 売上



四半期別 営業損益の推移

SPの一部ロイヤルティの前四半期月ずれ分の計上、DAの年度末需要による売上増及び粗利率改善により、
営業利益はQoQで+48.7%

(単位：百万円)



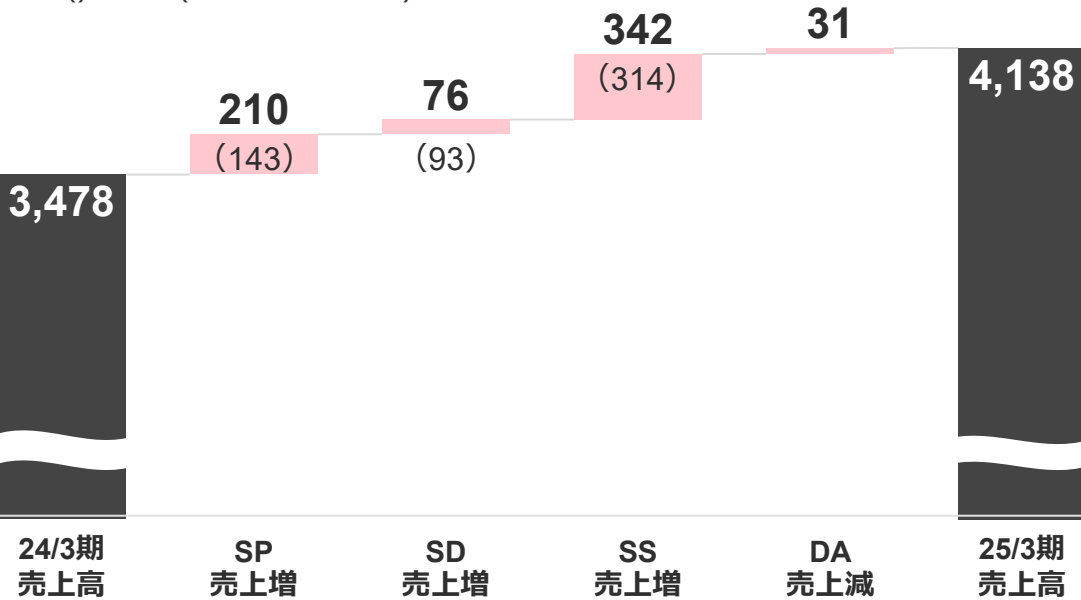
前期比：売上高（セグメント別及び形態別）

事業セグメント別では、前期比で+210百万円のSP事業と+342百万円のSS事業が大幅増
形態別では、主に受託開発売上が+396百万円と大幅増

事業セグメント別

(注)SP=ソフトウェアプロダクト事業
SD=ソフトウェアディストリビューション事業
SS=ソフトウェアサービス事業
DA=データアナリティクス事業
()内はGS(グレースシステム)の売上

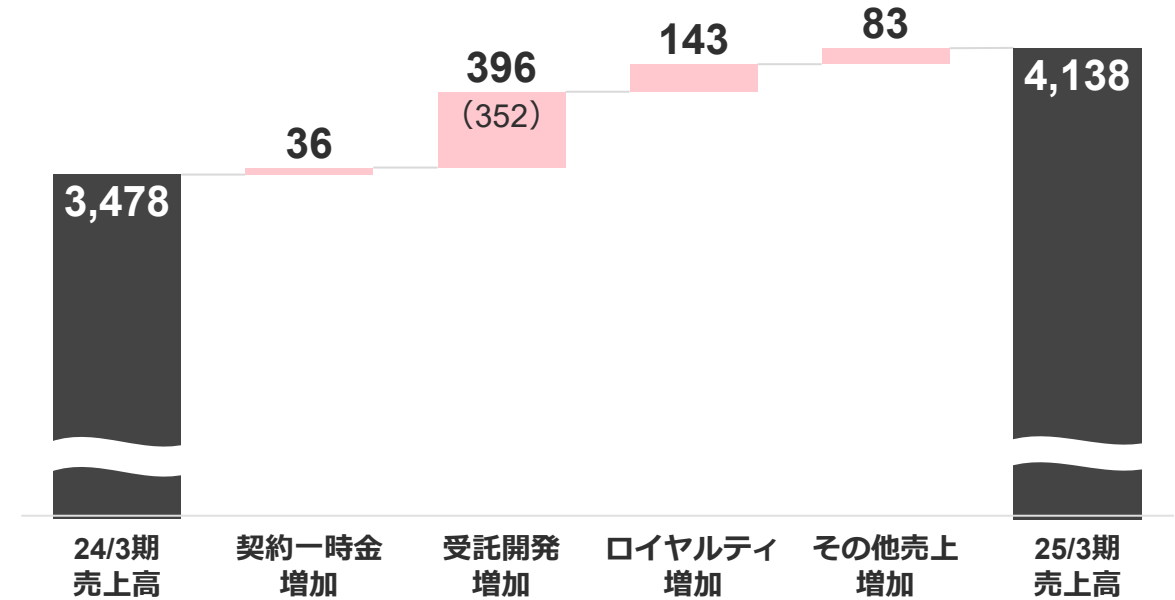
(単位：百万円)



形態別

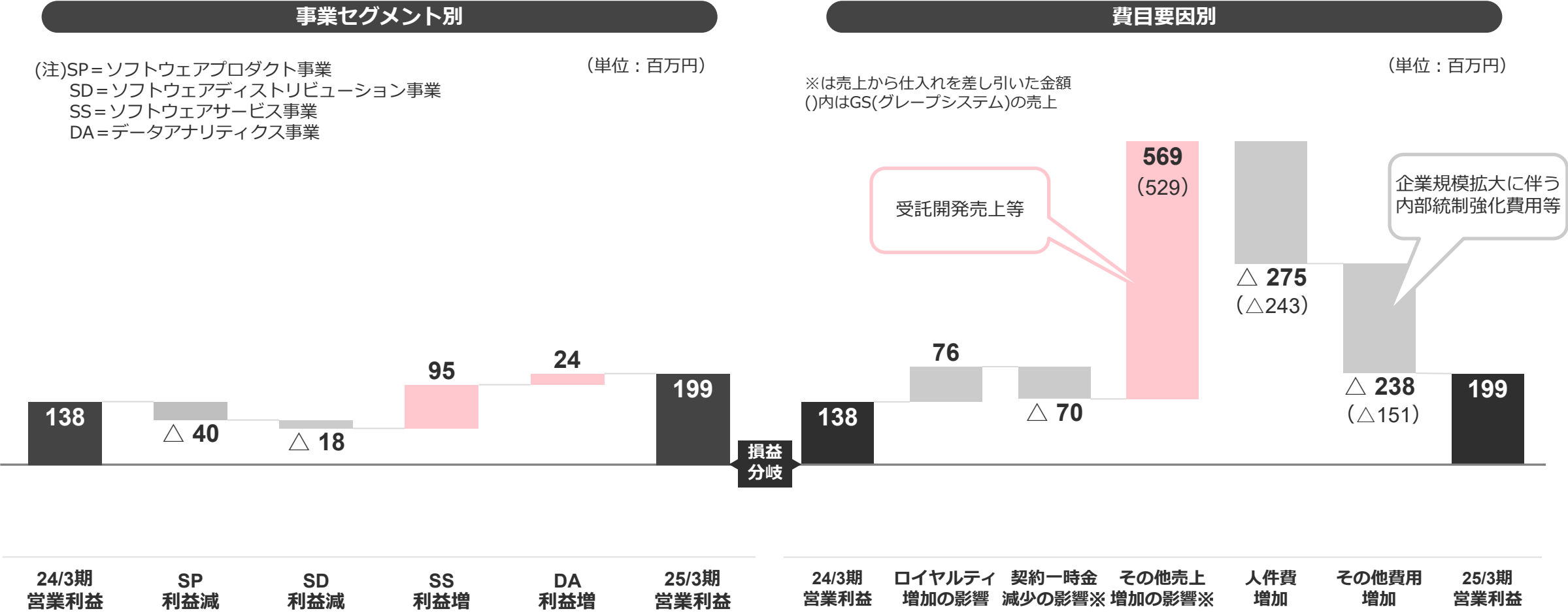
()内はGS(グレースシステム)の売上

(単位：百万円)



前期比：のれん償却前営業利益（セグメント別及び費目要因別）

SP事業とSD事業において利益が減少するも、SS事業の大幅増とDA事業の増加により、前期比で増加
費目別では、人件費や体制強化費のコスト増を受託開発売上の大幅増による利益増加により吸収



通期業績予想（連結）に対する結果

（単位：百万円）

	通期 業績予想	25/3期	達成率（%）
売上高	4,022	4,138	102.9%
営業利益	40	105	262.9%
経常利益	38	101	267.2%
純利益	△22	97	—

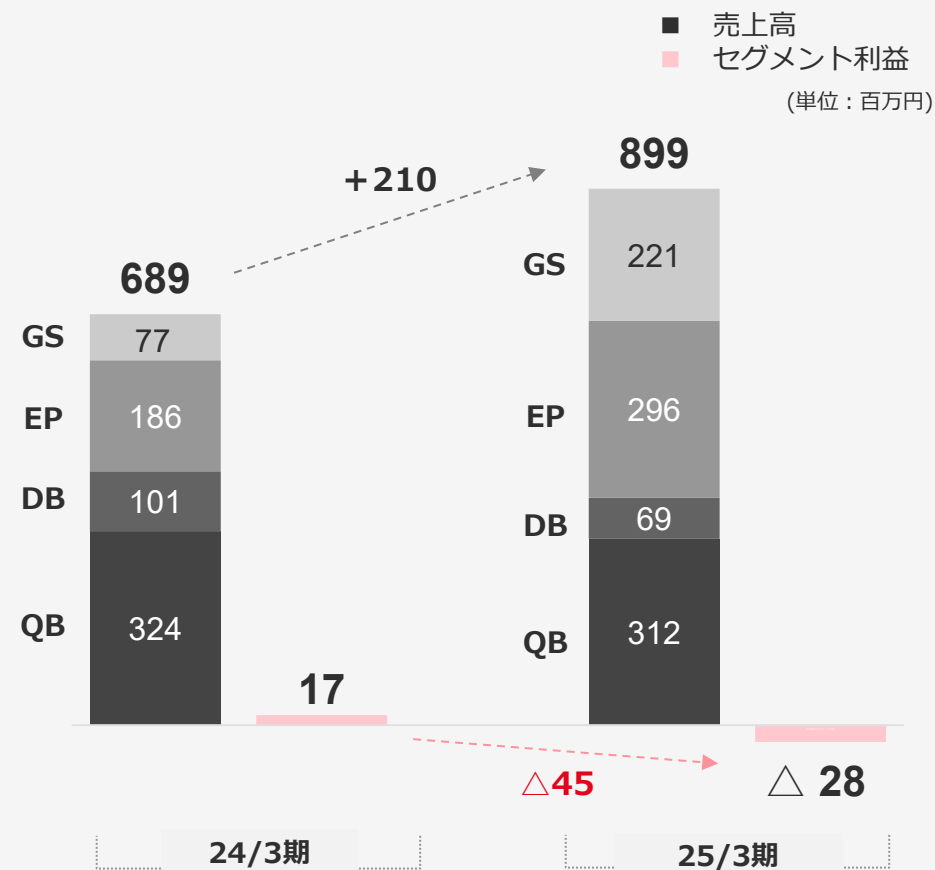
セグメント別概況と注力テーマ

当期注力テーマ

- 高速起動製品における次世代プラットフォーム対応強化と海外展開による更なる事業成長
- IoT機器の脆弱性に対する懸念の高まりに応えるためのセキュリティ製品の販促・提案強化

当期事業概況

- 前期比で売上高は増加、営業損益は減少
 - セキュリティ製品の売上が増加
 - 売上増加要因は、GS社のロイヤルティ売上の増加
 - 営業損益減少要因は、一部顧客の製品生産終了・計画変更等による売上の減少及びセグメント共通コストの増加
- 製品別概況
 - 高速起動製品：売上高・営業損益ともに前期比で減少
 - 一部顧客の製品生産終了等によりロイヤルティ売上が減少
 - 他製品：セキュリティ製品でロイヤルティを前倒し売上
 - 一部既存顧客の製品生産計画変更の影響によりロイヤルティ売上が減少



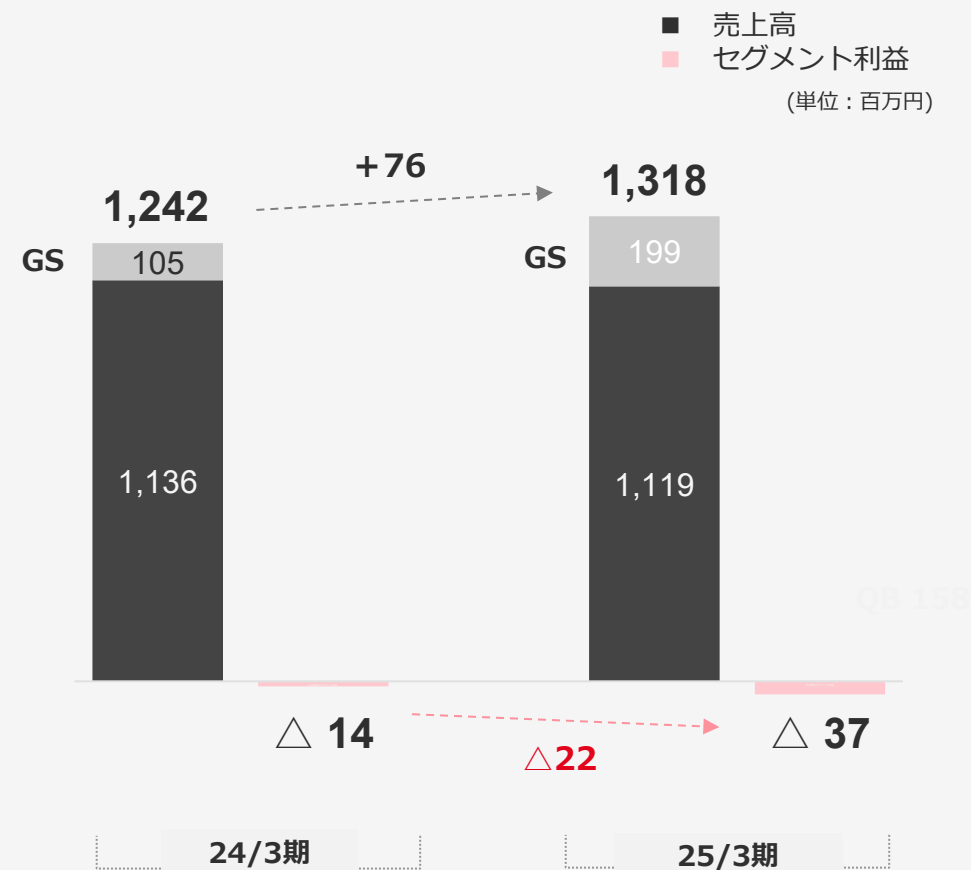
※QB: 高速起動製品
※DB: データベース製品
※EP: エンベデッドプラットフォーム製品
※GS: グレープシステム製品

当期注力テーマ

- ソフトウェア開発品質向上支援ツールの販売推進と、サイバーセキュリティ需要増に対応する脆弱性検証ツール・サービス事業の強化
- 既存の主力製品を中心に拡販展開
- 海外製新商品取扱いを推進

当期事業概況

- 前期比で売上高は増加、営業損益は減少
 - ・既存及び新規顧客への開発ライセンス販売、ロイヤルティ及び受託開発売上の増加
 - ・既存顧客向けライセンス売上の前倒し
 - ・GS社取扱い海外製品の売上分の追加
 - ・売上増加要因は、GS社のロイヤルティ売上の増加
 - ・営業損益減少要因は、セグメント共通コストの増加

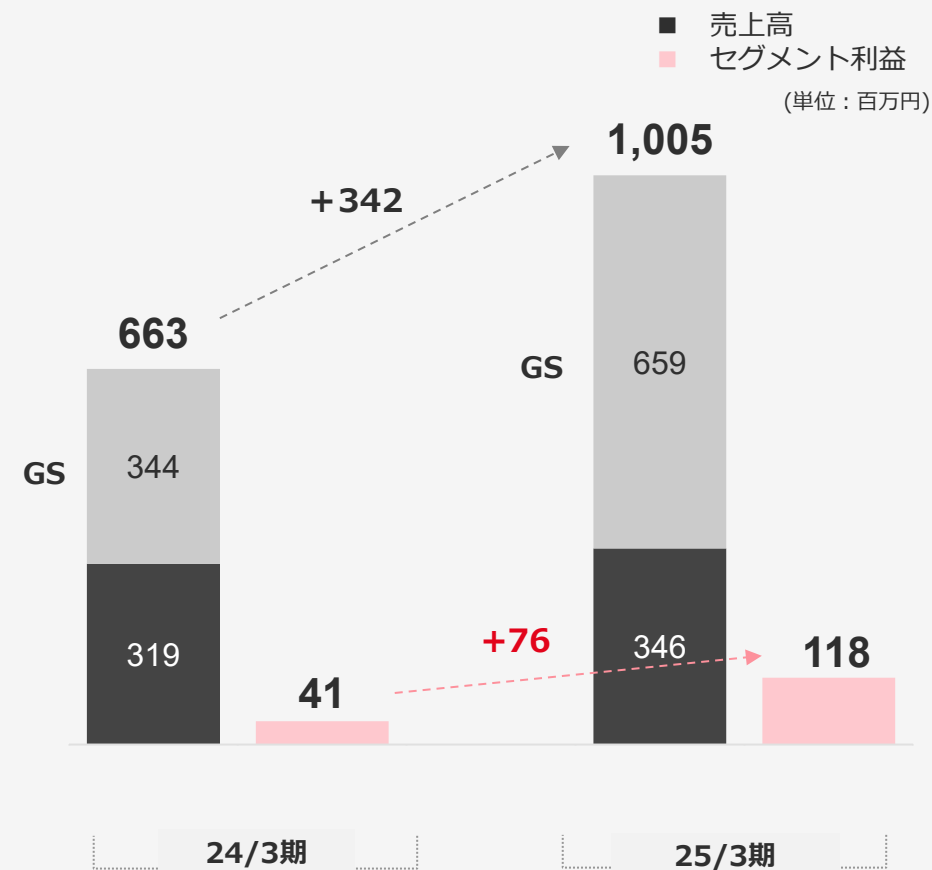


当期注力テーマ

- 既存顧客との長期的な関係構築による安定した受託開発案件の引き合い
- GS社子会社化に伴う受託開発力強化により、製品販売関連の受託開発、製品販売を伴わない既存顧客からの受託開発案件を積極的に獲得
- 米Gracenote社との密な連携による既存収益の継続的確保と、協業提案による新たな取り組みと、車載機器のCD再生機能搭載率低下による「YOMI」ライセンスの減少を補うためのストーリーミングメディアなど新たな分野へのアプローチや受託開発案件の強化

当期事業概況

- GS社の売上により前期比で売上高・営業利益ともに大幅増
 - 受託開発売上が既存顧客を中心に好調
 - GS社売上が大きく寄与



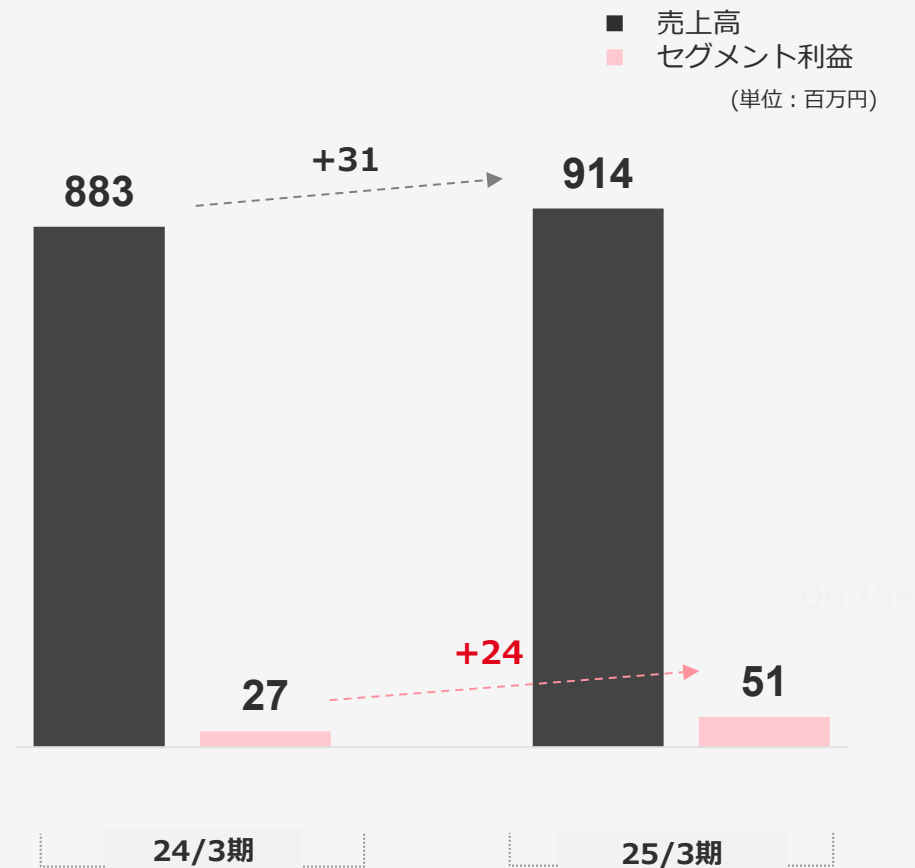
※GS: グレープシステム

当期注力テーマ

- 主力ソフトウェア製品（Origin、Stata）を中心とした教育機関、政府研究機関、一般企業への販売
- デジタルマーケティング及び学会併設展示会による新規販売強化
- 既存顧客への販促強化による、サブスクリプション（年間使用料）、メンテナンスの更新率向上

当期事業概況

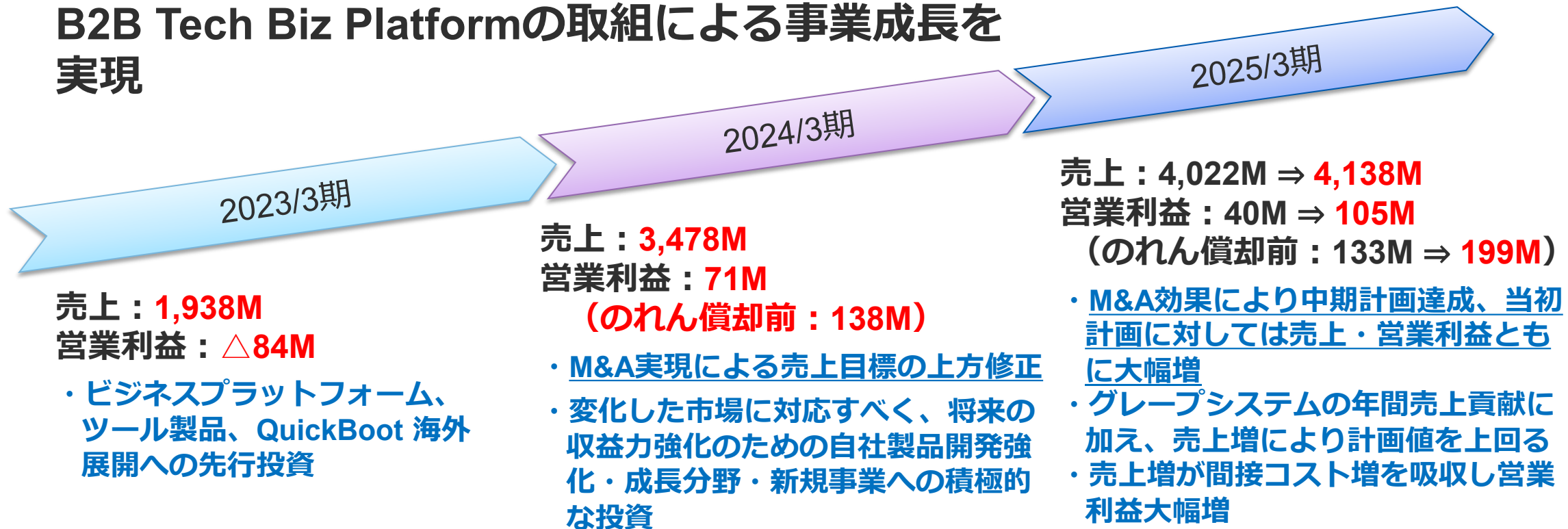
- 前期比で売上高・営業利益ともに増加
 - Origin、MIPAR、Multi-Sigmaのライセンス売上増





製造業顧客が必要とする テクノロジー・サービスを提供する会社

組込みソフトウェア会社としての事業基盤強化と、
B2B Tech Biz Platformの取組による事業成長を
実現



2026年3月期業績予想と重点取り組み

(単位：百万円)	26/3期 (目標)	25/3期 (実績)	増減額
売上高	4,349	4,138	210
営業利益	6	105	△99
経常利益	5	101	△96
当期純利益※	△23	97	△120

※当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益

グループとしての経営基盤と事業連携強化による次の成長に向けた取組に注力する

- ・ 次の成長を実現するための経営基盤整備（業務運営体制整備・効率化、人材採用・育成）
- ・ 前期比売上5%成長を目標とした事業取組
- ・ グループ全体でのデジタルマーケティング取組強化による売上増の実現
- ・ ユビキタスAIとグレースシステムの事業・販売連携強化
- ・ 競争力、成長が見込める製品・サービスへの注力（高速起動、開発品質向上支援ツール、デバイスセキュリティ）

2026年3月期 連結業績目標：事業別サマリー

ソフトウェアプロダクト事業

売上高： 901百万円

高速起動・デバイスセキュリティ・リアルタイムOS・2次元バーコード製品を中心に売上目標を実現
既存顧客からの売上に加え、過年度に採用された顧客製品の出荷開始によるロイヤルティ収入など、増加幅は大きくないが安定した売上規模を確保

ソフトウェアディストリビューション事業

売上高： 1,443百万円

開発品質向上支援ツール関連製品・サービス売上をより強化
多数の製品を取り扱うメリットを生かし、拡販により売上・利益増を見込む

ソフトウェアサービス事業

売上高： 1,055百万円

既存顧客の継続案件を中心とした売上
製品販売案件関連や、既存取引先からの受託開発獲得を強化

データアナリティクス事業

売上高： 950百万円

パッケージ製品販売・サブスクリプションを中心に前年度並みの売上を見込む

前期比：セグメント別売上及び利益

(単位：百万円)		26/3期 (連結)	25/3期 (連結)	増減額	増減率
ソフトウェアプロダクト事業	売上高	901	899	1	+0.2%
	セグメント利益	△23	△28	5	-
ソフトウェア ディストリビューション事業	売上高	1,443	1,318	124	+9.4%
	セグメント利益	△17	△37	20	-
ソフトウェアサービス事業	売上高	1,055	1,005	49	+4.9%
	セグメント利益	-	118	△118	-
データアナリティクス事業	売上高	950	914	35	+3.8%
	セグメント利益	46	51	△5	△11.1%
合計	売上高	4,349	4,138	210	+5.1%
	営業利益	6	105	△99	△94.3%

前期比：セグメント別売上及びのれん償却前利益

(単位：百万円)		26/3期 (連結)	25/3期 (連結)	増減額	増減率
ソフトウェアプロダクト事業	売上高	901	899	1	+0.2%
	セグメント利益	△16	△19	3	-
ソフトウェア ディストリビューション事業	売上高	1,443	1,318	124	+9.4%
	セグメント利益	△14	△32	18	-
ソフトウェアサービス事業	売上高	1,055	1,005	49	+4.9%
	セグメント利益	45	160	△115	-
データアナリティクス事業	売上高	950	914	35	+3.8%
	セグメント利益	85	90	△5	△6.2%
合計	売上高	4,349	4,138	210	+5.1%
	営業利益	100	199	△99	△49.8%



株式会社ユビキタスAI

TEL: 03-5908-3451 E-MAIL: sales@ubiquitous-ai.com

本社 〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-23-7 新宿ファーストウエスト17F
小杉事業所 〒211-0063 神奈川県川崎市中原区小杉町1-403 武蔵小杉タワープレイス14F
大阪営業所 〒550-0004 大阪府大阪市西区靱本町1-4-2 プライム本町ビルディング3F
名古屋営業所 〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄5-19-31 T&Mビル 3F-F
福岡R&Dセンター

〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前3-18-6 博多テラス2F

URL: www.ubiquitous-ai.com